

第1回サイエンスゼミ（生物）

今回は、ニュース等でよく取り上げられる遺伝子組換えをテーマとし、実験を通してその現象や技術の基本にある理論を学びました。また先端科学に触れ、講義や実験指導を受ける中で研究への興味関心を高めることを目的として実施しました。

- 1 日時 令和3年5月5日(水)、6(木)
- 2 場所 藤島高等学校生物実験室
- 3 講師 藤島高等学校生物教員
- 4 対象 本校1, 2年生 13名
- 5 内容
 - ・遺伝子組換えの原理
 - ・大腸菌への遺伝子組換え操作
 - ・GFPについて
 - ・抗生素質について



6 参加生徒の感想

- ・遺伝子組み換えと聞いて顕微鏡を覗いて細々していると思っていたけど薬品を使って遺伝子を組み替えたので発見になった。本物のバイオハザードマークを見たり遺伝子組換えした物の使用用途も知れてよかったです。
- ・遺伝子組み換えはたくさんのところに使われているのは知っていましたが、このように私達が簡単に組み換えたりすることもできるということを学ぶことが出来ました。
- ・今まで生活しているなかで、よく見る遺伝子組み換えという言葉でしたが、自分でやってみるとより身近なものに感じられてよかったです。今までのイメージだと、顕微鏡などを使ってとても細かい作業をやって、遺伝子を組み換えるというものなのかなと思っていましたが、今回やったものはそうではなくもっと簡単なのかなと思いました。明日学校に行って、今回やった大腸菌がどのような変化をしているのか見るのがとても楽しみです。もし、またこういったことができる機会があったら参加したいと思います。こういった体験ができたことが本当に嬉しかったし、新しい生物の見方ができるようになってよかったです。



